

株主通信

第59期 上半期事業報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

valer[®] Holdings

TOP MESSAGE

1兆円企業を目指して—— 持株会社体制での新たな挑戦が始まりました。

株主の皆様には、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

バローグループの平成28年3月期第2四半期決算は、増収増益を達成することができました。なお、当社グループの業績の状況および各セグメントの業績は、10ページから12ページに記載のとおりであります。

中間期の配当金につきましては、前期より1円増配し、1株当たり17円といたします。また、期末配当金は1株当たり18円とし、年間配当金は2円増配の35円とする予定です。配当金につきましては、中長期的な事業展開に備えた設備投資の継続や、企業体質強化のための内部留保の充実に留意しながらも、株主様に対して安定的かつ継続的な利益還元を行ってまいります。

さて、当社グループの属する小売業界におきましては、業態を超えた競争の激化や原材料価格の上昇等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは中期3ヵ年経営計画の初年度として、スーパーマーケット事業を中心とする構造改革の推進、成長ドライバーとしてのドラッグストア及びホームセンターの業容拡大、持株会社体制への移行に伴う組織基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期末現在のグループ全体の店舗数は、前期末より21店舗増加し、669店舗となりました。また、平成27年8月、岐阜県可児市に精肉加工としては5拠点目となる「可児プロセスセンター」を開設し、SMバロー全店への精肉供給体制を整備いたしました。過去5期に渡るインフラ投資がひとまず完了した今、インフラ投資の効果を最大限に追求し、収益性の向上を図ってまいります。

なお、当社グループは10月1日をもって持株会社体制へ移行しました。持株会社としての当社は、事業会社の成長促進とガバナンス強化を通じ、企業価値の最大化を図る役割を担っております。新たな組織体制のもと、中期3ヵ年経営計画の遂行によって経営効率の改善を図りつつ、長期的には営業収益1兆円の突破に向けて、持続的な成長を実現してまいります。

株主の皆様には、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社バローホールディングス
代表取締役会長兼社長

田代正美

中期3ヵ年経営計画の進捗状況

パローグループでは中期3ヵ年経営計画の初年度として、持株会社体制への移行に伴う組織基盤の強化、スーパーマーケット事業を中心とする構造改革の推進、成長ドライバーとしてのドラッグストア・ホームセンターの業容拡大に取り組んでまいりました。

1. 組織基盤の強化

持株会社体制の始動

当社グループは平成27年10月1日付で持株会社体制へ移行し、当社の100%子会社である株式会社パローがスーパーマーケット事業を、株式会社ホームセンターパローがホームセンター事業及びペットショップ事業を承継しました。

持株会社としての当社は、事業会社の成長促進とガバナンス強化を通じ、企業価値の最大化を図る役割を担っています。新たな組織は、総務人事・財務などの経営管理機能のほか、開発・物流・情報システムなどのグループ戦略機能、リスクマネジメントなどのコーポレート・ガバナンス機能を有しております。

●持株会社体制への移行目的

- ・グループ戦略の構築・遂行
- ・管理機能集約による効率化
- ・個別事業の成長
- ・ガバナンスの強化
- ・人材育成

●グループ概略図



●事業会社の役員構成 (平成27年10月1日現在)

株式会社パロー

田代 正美	代表取締役社長	(株式会社パローホールディングス 代表取締役会長兼社長)
米山 智	取締役	事業統括本部長 (株式会社パローホールディングス 取締役)
篠花 明	取締役	(株式会社パローホールディングス 常務取締役 総務人事部長兼リスクマネジメント部長)
設楽 雅美	取締役	商品部長 (株式会社パローホールディングス 取締役)
伊藤 正彦	取締役	EDLP事業部長兼水産部長 (株式会社パローホールディングス 取締役)
鈴木 一宏	取締役	(株式会社パローホールディングス 常務取締役海外事業部担当)
三宅 泰徳	取締役	(株式会社パローホールディングス 取締役海外事業部担当)

株式会社ホームセンターパロー

和賀登 盛作	代表取締役社長	HC事業統括部長 (株式会社パローホールディングス 取締役)
山下 隆夫	常務取締役	物流部長兼新店・システム管掌 (株式会社パローホールディングス 取締役)
田代 正美	取締役	(株式会社パローホールディングス 代表取締役会長兼社長)

開示内容の一部変更について

持株会社体制への移行に伴い、決算・その他開示資料の内容の一部変更が生じます。当社の報告セグメントの一つである「スーパーマーケット事業」に事業会社として始動した「株式会社パロー」が含まれるほか、「その他」に区分されていたペットショップ事業が「ホームセンター事業」に含まれます。なお、同変更は平成28年3月期第3四半期より適用されます。

●変更後の報告セグメント

	中核事業会社	セグメントに含まれる主な事業
スーパーマーケット事業	(株)パロー (株)タチヤ (株)食鮮館タイオー 中部フーズ(株)	スーパーマーケット事業 食品加工業 食品卸売業 農産物の栽培・販売業
ホームセンター事業	(株)ホームセンターパロー (ペットショップ事業を含む)	ホームセンター事業 ペットショップ事業 園芸用資材卸売業
ドラッグストア事業	中部薬品(株)	ドラッグストア事業 化粧品、健康食品等の卸売業
スポーツクラブ事業	(株)アクトス	スポーツクラブ事業
流通関連事業	中部流通(株) 中部興産(株)	食品、雑貨及び資材の卸売業 物流事業 設備メンテナンス業 店舗清掃業 花卉類卸売業 自動販売機管理業

2. 構造改革の推進

中核のスーパーマーケット事業では、商品構成の改善や改装を通じ、既存店の競争力強化に注力しました。また、近年整備してきたインフラについては、商品開発の推進や稼働率の向上に取り組んでいます。

可児プロセスセンターの稼働

平成27年8月、岐阜県可児市に「可児プロセスセンター」を開業いたしました。精肉加工としては5拠点目となる同センターの開業により、SMバロー全店への精肉供給体制が整備されました。



●スーパーマーケット事業 関連インフラ

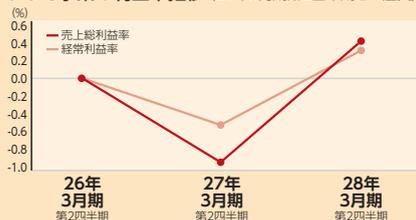
- 物流センター
 ■チルド ■ドライ ■チルド/ドライ
 プロセスセンター
 ▲畜産 ▲青果 ▲水産
 製造工場
 ●水産 ●デリカ ●ベーカリー



商品力向上・生産性 改善への取り組み

平成26年5月に稼働した中部フーズ静岡工場では、野菜洗浄・殺菌装置を導入し、生野菜を原料とする商品開発を進めています。既存工場と併せて増産を続けるとともに、製造の進捗管理をリアルタイムで行うなど、生産性の改善に取り組んでいます。

デリカ事業の利益率推移 (26年3月期第2四半期との差異)



静岡工場の機能を活用した開発商品 (盛りつけ例)

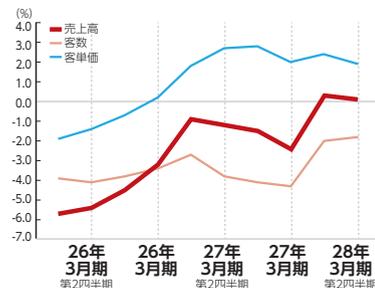
スーパーマーケット事業の既存店強化

SMバローでは青果部門を集客の柱として競争力を強化するとともに、商品構成の改善をすすめ、第2四半期累計8店舗で改装を行いました。SMバローの既存店売上高は前年同期比0.1%増となりました。

特に、平成27年4月に改装した豊橋店 (愛知県豊橋市) では、生鮮の強化に向けて、青果からデリカ、ベーカリー売場までお客様に限なく立ち寄っていただけるレイアウトへ変更しました。また、圧倒的に強いカテゴリーを持ちながら売場に日々変化がある、当社が目指す『カテゴリーキラー』の要素を包含した乾物やキムチ売場は好調に推移しています。



既存店の伸張率推移



「この味に出会えてよかった」 Vプレミアム 新商品が続々と登場

平成26年6月の発売開始以来、多くのお客様に支持されてきたバローPB商品「Vプレミアム」。平成27年10月には素材・製法にこだわりながら、より嗜好性を重視した新商品を発売しています。



ブレンドドリップコーヒー(マイルド)

グアテマラの高原で育った最上級豆をブレンド。花のような甘い香りと、気品のある澄んだ味わい特徴です。



直火造り スパイシーカレーフレーク

直火釜で丹念に焙煎しました。スパイシーな味わいの中に隠し味のバナナやチーズのコクと深みの感じられるカレーフレークです。



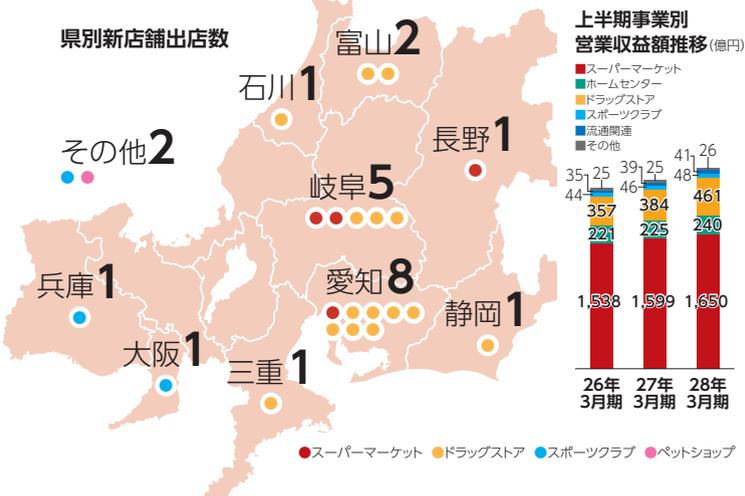
匠の海老焼売

プリプリの海老の食感にこだわりました。

3. 成長ドライバーの育成

当社グループは当第2四半期累計期間に23店舗を開設しました。特に、ドラッグストア事業では15店舗と高水準の出店を続けています。出店は愛知県・岐阜県などに集中し、既存エリアのシェア拡大を図っています。

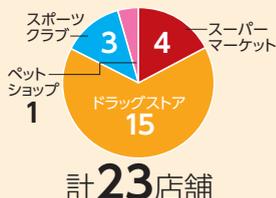
県別新店舗出店数



●積極出店が続くドラッグストア



事業別出店数割合



●上期新規出店リスト

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 4月2日 ●SMVパロー川合店(岐阜) | 6月25日 ●V・drug西春店(愛知) |
| 4月16日 ●V・drug豊橋牧野店(愛知) | 7月1日 ●スポーツクラブアクトス Wii_G広畑(兵庫) |
| ●V・drug藤枝水守店(静岡) | ●スポーツクラブアクトス Wii_G鶴ヶ峰(神奈川) |
| 4月23日 ●V・drug御嵩東店(岐阜) | 7月9日 ●SMVパロー西春店(愛知) |
| 4月25日 ●ペットフォレスト若葉台店(東京) | ●V・drug新栄店(愛知) |
| 5月1日 ●スポーツクラブアクトス Wii_Gいごらも〜る泉佐野(大阪) | 7月23日 ●SMVパロー塩尻店(長野) |
| ●V・drug一宮市民病院前薬局(愛知) | ●V・drug四日市中川原店(三重) |
| 5月21日 ●タチヤ関稲口店(岐阜) | ●V・drug武儀店(岐阜) |
| ●V・drug豊橋菰口店(愛知) | 7月30日 ●V・drug高岡羽広店(富山) |
| ●V・drug甚目寺西店(愛知) | ●V・drug砺波中神店(富山) |
| 5月28日 ●V・drug領下店(岐阜) | 9月17日 ●V・drug名塚店(愛知) |
| 6月11日 ●V・drug鳴和店(石川) | |

ドラッグストア・ホームセンターの業容拡大

ドラッグストア

中部薬品では積極出店による成長に加え、既存店売上が前年同期比13.2%と伸ばしました。前期から好調に推移していた食品・調剤に加え、前期に消費増税の影響を受けた化粧品等の販売に堅調な動きが見られました。

専門性の強化 セルフ販売でも選びやすい化粧品売場の展開

中部薬品では、専門性の強化に向けて、売場改革と教育体制の充実に取り組んでいます。化粧品部門では「ANSWER（アンサー）売場」を展開し、加齢や季節変化に伴うお悩み対策など、テーマ性のある商品選定を行うとともに、分かりやすい説明表示に努めています。また、知識・実技研修を充実させ、カウンセリング販売も強化しています。



ホームセンター

HCパローでは農業資材やリフォーム部門が好調に推移し、既存店売上が前年同期比4.6%増となりました。当第2四半期累計期間に出店はありませんでした。平成27年10月、岐阜県本巣郡北方町に新店を開設しています。

専門性の強化 生活支援サービスの展開開始

株式会社ベンリーコーポレーションとのフランチャイズ契約締結により、平成27年4月、HCパロー各務原中央店内に「ベンリーパロー各務原中央店」を開設しました。レンジフードやエアコンのクリーニングなどのサービス施工後にリフォームを受注するなど、専門知識・技術を活かしたビジネスが広がっています。

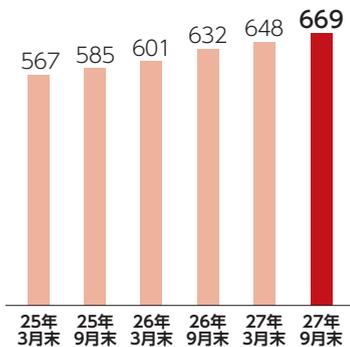


業態別店舗数

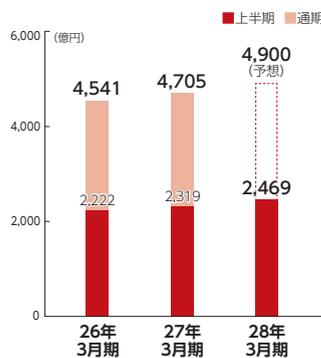


計 **669** 店舗

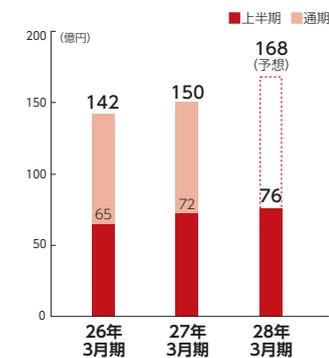
店舗数推移



営業収益

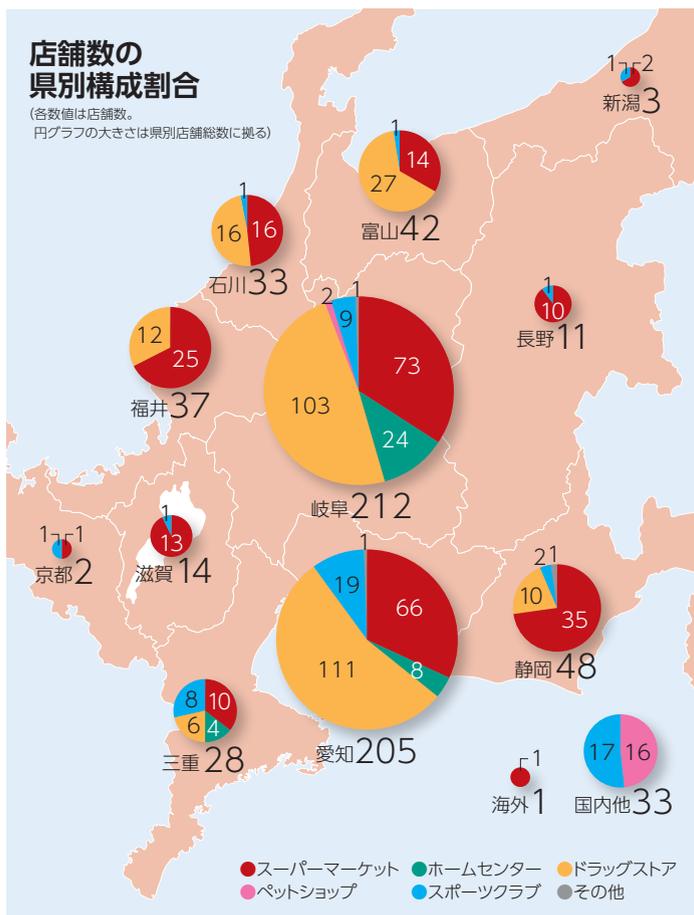


営業利益

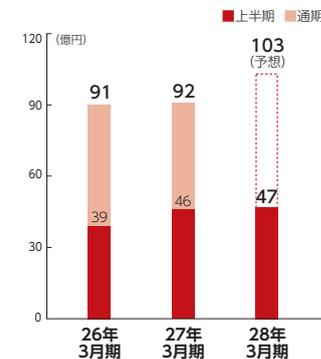


店舗数の
県別構成割合

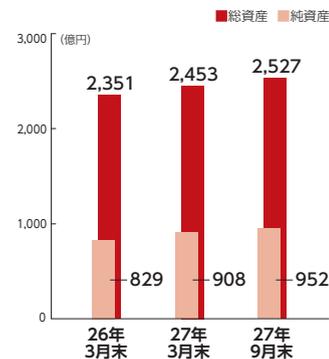
(各数値は店舗数。
円グラフの大きさは県別店舗総数に拠る)



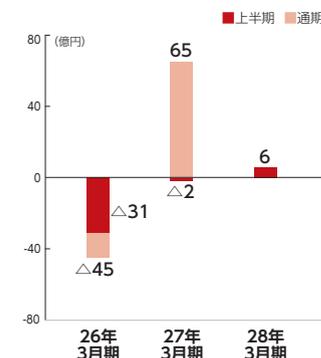
親会社株主に帰属する
当期純利益



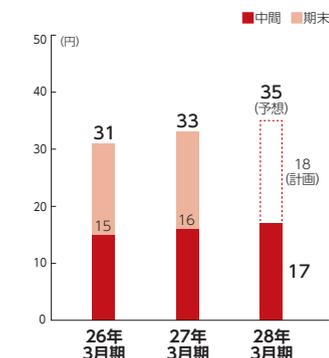
総資産／純資産



フリーキャッシュフロー



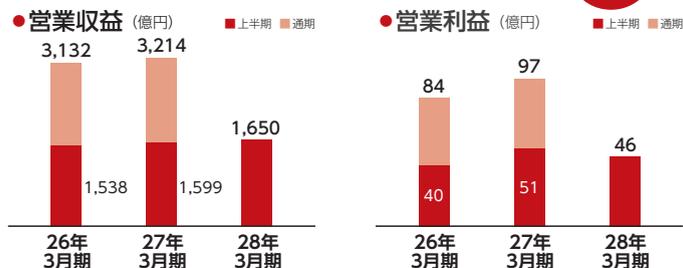
1株当たり配当金



事業別概況

スーパーマーケット(SM)事業

●営業収益割合 **66.8%**

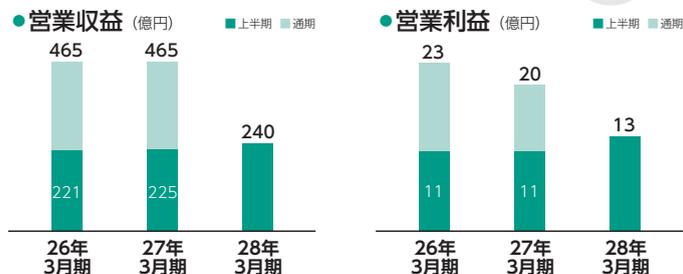


営業収益 **1,650億97百万円** 営業利益 **46億95百万円**

基幹となるSM事業につきましては、営業収益が前年同期比3.2%増、営業利益が前年同期比8.4%減となりました。SMパローの既存店売上高が前年同期比0.1%増加したほか、タチヤの二桁増収も寄与し、事業全体で増収を確保いたしました。同事業においては、商品構成の改善や改装を通じ、既存店の競争力向上に努めました。また、インフラを活用した商品力の向上や生産性の改善にも取り組みました。店舗につきましては、SMパロー3店舗、タチヤ1店舗を開設し、SMパロー1店舗を閉鎖したことから、当第2四半期末現在のSM店舗数はグループ合計で266店舗となりました。

ホームセンター(HC)事業

●営業収益割合 **9.7%**

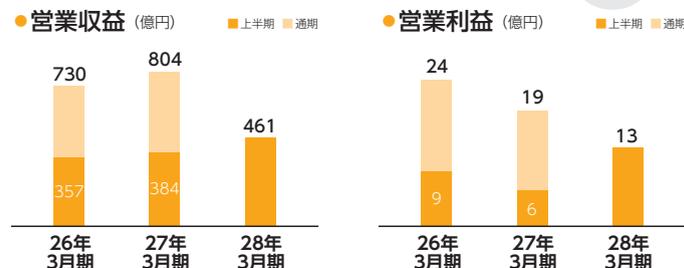


営業収益 **240億59百万円** 営業利益 **13億48百万円**

同事業につきましては、営業収益が前年同期比6.6%増、営業利益が前年同期比21.6%増となりました。HCパローの既存店売上高が前年同期比4.6%増加するとともに、前期に開設した店舗も寄与し、事業全体で増収増益となりました。同事業においては専門性の強化を図り、農業資材やリフォーム部門が堅調に推移しました。同事業では出店及び退店はなく、当第2四半期末現在の店舗数は36店舗となりました。

ドラッグストア事業

●営業収益割合 **18.6%**



営業収益 **461億12百万円** 営業利益 **13億00百万円**

同事業の営業収益は前年同期比20.1%増、営業利益は前年同期比95.1%増となりました。中部薬品の既存店売上高が前年同期比13.2%増加するとともに、前期から当期にかけて開設した店舗も寄与し、事業全体で増収増益となりました。同事業においては、食品や調剤事業が引き続き順調に推移したほか、専門性の強化にも取り組みました。店舗につきましては15店舗を開設し、1店舗を閉鎖したことから、当第2四半期末現在の店舗数は285店舗となりました。

スポーツクラブ事業

●営業収益割合 **1.9%**

営業収益 **48億42百万円** 営業利益 **2億02百万円**

同事業につきましては、前期に出店を本格化させた「Will_G」が軌道に乗り、会員数の増加により増収となりました。平成27年7月、神奈川県横浜市に開設した「アクトスWill_G鶴ヶ峰」など計3店舗を開設し、当第2四半期末現在の店舗数は61店舗となりました。

流通関連事業

●営業収益割合 **1.6%**

営業収益 **41億19百万円** 営業利益 **18億84百万円**

流通事業に関連するその他のグループ企業では、環境負荷低減への対応を進めるほか、流通事業の規模拡大に的確に対応するためのインフラの改善やサービスレベルの維持向上に努めてまいりました。

その他の事業

その他の事業につきましては、ペットショップ事業、衣料品等の販売業及び保険代理業等であります。ペットショップ事業においては1店舗を開設し、当第2四半期末現在の店舗数は18店舗となりました。

会社概要 (平成27年10月1日現在)

会社名	株式会社パローホールディングス
設立	昭和33年7月 (平成27年10月1日付で「株式会社パロー」より商号変更)
事業内容	チェーンストア事業およびそれに関する事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理
所在地	本部：岐阜県多治見市大針町661-1
資本金	119億16百万円
グループ従業員数	社員：5,116名
<small>(平成27年9月30日現在)</small>	パート・アルバイト等：15,783名 (8時間換算人数)

役員 (平成27年10月1日現在)

株式会社パローホールディングス

田代 正美	代表取締役会長兼社長	(株式会社パロー 代表取締役社長 株式会社ホームセンターパロー 取締役)
中村 純二	専務取締役	開発・資産管理部長
篠花 明	常務取締役	総務人事部兼リスクマネジメント部長 (株式会社パロー 取締役)
鈴木 一宏	常務取締役	海外事業部担当 (株式会社パロー 取締役)
志津 幸彦	取締役	財務経理部長兼情報システム部長
安原 千佳世	取締役	企画部長兼社長室長
今井 俊幸	取締役	総務人事部担当部長
米山 智	取締役	(株式会社パロー 取締役事業統括本部長)
和賀登 盛作	取締役	(株式会社ホームセンターパロー 代表取締役社長兼HC事業統括部長)
山下 隆夫	取締役	(株式会社ホームセンターパロー 常務取締役物流部長兼新店・システム管掌)
設楽 雅美	取締役	(株式会社パロー 取締役商品部長)
伊藤 正彦	取締役	(株式会社パロー 取締役EDLP事業部長兼水産部長)
三宅 泰徳	取締役	海外事業部担当 (株式会社パロー 取締役)
横山 悟	取締役	(株式会社アクトス 代表取締役社長)
森 克幸	取締役	(株式会社タチャ 代表取締役社長)
増田 陸奥夫	社外取締役	
秦 博文	社外取締役	

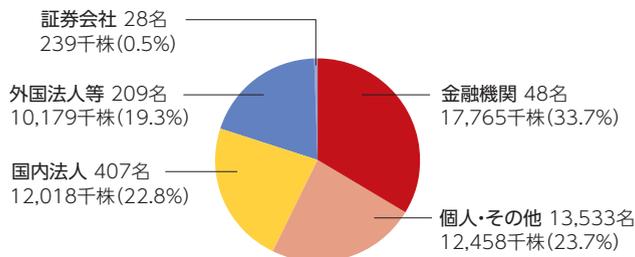
株式数及び株主数

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	52,661,699株
株主数	14,225名

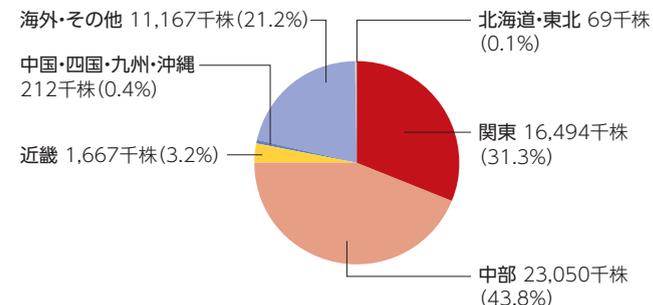
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
農林中央金庫	2,542	4.8
(株)十六銀行	2,536	4.8
公益財団法人伊藤青少年育成奨学会	2,400	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,245	4.2
伊藤 喜美	1,578	2.9
田代 正美	1,570	2.9
(株)子雲社	1,326	2.5
中部エージェント(株)	1,303	2.4
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,286	2.4
(株)三菱東京UFJ銀行	1,256	2.3

所有者別株式の分布状況



地域別 株式の分布状況



ホームページをリニューアルしました

<http://valorholdings.co.jp/ir/>



持株会社体制への移行を機に、ホームページをリニューアルいたしました。株式会社パロー、株式会社ホームセンターパローの事業活動につきましては<http://valor.jp>、<http://homecentervalor.co.jp>でご確認ください。

株主優待制度変更のお知らせ

毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主様に対し、株主優待品を贈呈していますが、**平成28年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様より**、保有株式数に応じた優待内容を変更するとともに、当社株式の保有期間に応じた株主優待制度に変更いたします。

保有株式数	100株～499株	500株～999株	1,000株以上
1年未満 保有 優待品*	1,000円	1,500円	3,000円
1年以上 保有 優待品*	1,500円	3,000円	6,000円

※優待品は、記載金額の**バローグループで利用できる商品券(1枚500円)**または記載金額相当の**当社オリジナル商品の詰合せ**のいずれかを選択いただきます。

(注) 継続保有期間とは、上記区分による株式数を基準日(毎年3月31日、9月30日)時点において同一株主番号で保有していることが当社株主名簿の記載・記録にて確認できる期間をいいます。なお、相続等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事情により電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://valorholdings.co.jp/ir/koukoku/

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座をお持ちでなかった株主様につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 **バロー** ホールディングス

本部
岐阜県多治見市大針町661-1
TEL 0572-20-0860 (代表)
ホームページ
<http://valorholdings.co.jp>



この報告書は、森林認証を受けたFSC®認証紙、及び、植物油インキを使用しています。